MAIMAIKO

高松市資料館だより
maimaiko
【まいまいこ】
ぐるぐるとまわる、という意味の讃岐の方言「まいまいこする」からつけました。

あなたと５館をむすぶ情報誌　　第９号

×
REKISHI

今年は瀬戸芸イヤー

歴史とアートは無関係？！

歴史を知る→アートがもっと楽しくなる

アートを探しに資料館へGO！

CONTENTS

★ART×maimaiko
　５館にかくれたアートをさがせ！
★平成 28 年度　５館展示予定
★玉藻公園・陳列館
　　リニューアルオープン！

5館にかくれたアートをさがせ！

ART×maimaiko

歴史資料館
TAKAMATSU HISTORICAL MUSEUM

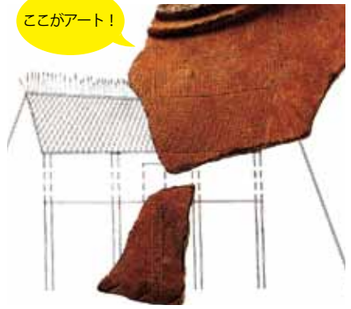
高松市昭和町1-2-20
(サンクリスタル高松4F)
Tel.087-861-4520
開館時間：9:00～17:00
月曜休館(休日の場合は翌日)

郷土玩具　デコサンイタ～

郷土玩具は古くからその土地で作られてきたおもちゃであり、伝統的なアートでもあります。実は今、ひそかな郷土玩具ブーム！セレクトショップなどで販売され、人気をよんでいます。歴史資料館では故・宮内フサさんの「ほうこうさん」 などビンテージアイテムを展示紹介しています。（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月までの予定）
デコサンミニキテイタ～

高松で最も古いアート？！

高松市新田町の久米池南遺跡から、絵が描かれた弥生土器片が出土し、これは高松で描かれた最も古い絵の一つと考えられています。絵の一部しか残っていませんが、大きな方の土器片には建物の屋根が、小さな方の土器片にははしご状のものが描かれています。
これは高床式の建物を表現したものとみられ、村にとって大事な建物を描いた土器は大切にされていたと考えられます。
この土器片は常設展示室で見ることができます。約 1900 年前に思いを馳せ、高松で最も古いアートをお楽しみください！



菊池寛記念館
KIKUCHIKAN MEMORIAL MUSEUM

高松市昭和町1-2-20
(サンクリスタル高松3F)
Tel.087-861-4502
開館時間：9:00～17:00
月曜休館(休日の場合は翌日)

文士花盛り絵図

記念館の壁面を飾り、その大きさと華やかさから一　際目をひく『文士花盛り絵図』ここには菊池寛が尊敬した文士たち、寛を尊敬し交友のあった文士たち７７人が描かれています。

画は横山隆一氏（『フクちゃん』の作者）、浜田貫太郎氏、二階堂正宏氏、小山賢太郎氏の４名が手掛けたもので、それぞれの作家の特徴がユニークに捉えられています。あなたが知っているのはどの作家ですか？答えあわせのプリントも用意しています。

中央公園内 菊池寛銅像

「菊池寛銅像」は、昭和 31 年に建立されました。その除幕式には、寛の長男・英樹氏や大映社長永田雅一氏、作家吉川英治氏などが参列しました。
制作者の新田藤太郎氏（詫間町出身・東京美術大卒・彫刻家）は、「氏の性格その他を知りつくすべく著書や本を読破した。親交ありし方々の話も聞いた」「顔の凸凹の肉付けで氏の感じを出すようにした」とその苦心を語っていました。中央公園を散歩される際には温顔たたえるありし日の文豪の姿を御覧ください。

石の民俗資料館
TAKAMATSU STONE CULTURE PARK

高松市牟礼町牟礼1810
Tel.087-845-8484
開館時間：9:00～17:00
月曜休館(休日の場合は翌日)

手仕事の美 ～字彫り～

石に文字を彫る石工職人の技はもはやアート！書者の筆づかいを石面に再現し、書に命をふき込みます。資料館では３つの彫り方の見本石があり、文字の彫り方の違いをじっくり観察することができます。

「侘（わび）」の美 ～石燈籠～

もともと寺の献灯具であった石燈籠は、茶の湯の発展とともに庭の照明としての実用性とは別に、「侘」趣味にかなう造園材料としてその姿の美しさや創造性を極めてきました。
そのデザインの種類は非常に多くあり、資料館所蔵の『石燈籠百基図』からはその型の様式の一部を見ることができます。

讃岐国分寺跡資料館
SANUKI KOKUBUNJI HISTORICAL MUSEUM

高松市国分寺町国分2177-1
Tel.087-874-8840
開館時間：9:00～16:30
月曜休館(休日の場合は翌日)

讃岐国分寺の復元図

讃岐国分寺跡資料館の展示パネルやパンフレットには、計８枚の復元画が使われています。この復元画は、発掘事務所で長年お仕事をされた早川和子さんが、発掘調査や遺物など考古学の情報を手掛かりに描いたものです。早川さんは、もともとアニメーションのお仕事をされていたので、絵に登場する人々がとてもいきいきとしていて、親しみやすい絵になっています。

古代の様子について様々な想像をかきたたせてくれますので、御来館の際には、ぜひじっくり御覧ください。

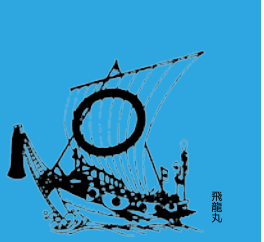
早川和子
武蔵野美術大学を卒業後、アニメスタジオマッドハウス、京都市埋蔵文化財調査研究センター整理員を経て考古イラストレーターに。著書に「よみがえる日本の古代」など多数。

香南歴史民俗郷土館
KONAN FOLK HISTORY MUSEUM

高松市香南町由佐253-1
Tel.087-879-0717
開館時間：9:00～17:00
月曜休館(休日の場合は翌日)

日本刀のコレクション

郷土館では、日本の美術工芸の一つでもある“日本刀”をおすすめします！最近では若い女性や外国人の間でも人気が高まり、毎年秋頃に開催する武器（日本刀、火縄銃、甲冑など）に関する企画展も好評です。
常設展では、館所蔵の日本刀（又はなぎなた）を展示しています。日本美術と聞いて固くならずに、お気軽にお越しください♪繊細な匠の技術や刀身の美しさなど、日本刀の魅力に思わず目を奪われること間違いなしです！
※企画展の内容により展示していない場合があります。



	高松市歴史資料館	菊池寛記念館	讃岐国分寺跡資料館	香南歴史民俗郷土館	石の民俗資料館
2016 4月	4/23~6/26 (5/24~5/27 は展示替えのため閉室) 収蔵品展 「高松藩・狩野派！ー御用絵師とその周辺ー」	3/26~5/8 ミニコレクション展 「又吉だけじゃない！　芥川賞をとった作家達―羽田圭介 & 辻仁成」		4/16 ～ 5/22 「第 11 回城山まつり」	4/1 ～ 4/10 共催展「萌展」
5		5/10~6/12 ミニコレクション展 「文豪 × 漫画（仮）」	5/18 ～ 7/3 「讃岐国府跡探索事業 7」	5/27 ～ 5/29 「第 38 回香南さつき展」	4/23 ～ 6/12 「高松の伝統工芸～伝統工芸を守るということ～」 伝統工芸を体感できるワークショップもあります。
6	この夏一押しの展示です。	6/14~7/15 ミニコレクション展 「菊池寛と成瀬正一（仮）」	7/5 ～ 9/25 「東海道の国分寺跡Ⅰ」	6/4 ～ 7/10 「第 11 回わが家のお宝展」	6 /17 ～ 6/26 共催展「水無月展」 7 /1 ～ 7/10 共催展「文月展」
7	7/16~9/4 瀬戸内国際芸術祭 2016 パートナーシップ事業 第 71 回企画展 「心を豊かにするデザイン～讃岐民具連とその時代～」	「文芸講座」は 6 月～ 3 月の毎月第 1 土曜日に開催しています。		7/16 ～ 8/28 「夏休み企画展（仮）」	7/23 ～ 9/ 4 「思可牟展」 漆芸・陶芸・日本画・讃岐のり染め等多様なグループ展
8			讃岐国分寺天平文化倶楽部の５年間の活動を紹介します。		
9	歴史資料館では、かんたん英語表記の解説パネル、始めました！	9/17 ～ 10/16 「生誕１２０年　宮澤賢治（仮）」 「雨ニモ負ケズ」手帳等を展示。人々の心をとらえてやまない宮澤賢治の魅力に迫ります！	9/27 ～ 11/20 史跡まつり開催記念企画展「讃岐国分寺天平文化倶楽部 5 周年記念展（仮）」	9/3 ～ 9/25 香川県資料館協議会巡回展 「守る・攻める　城と館」	9 /16 ～ 9/25 共催展「長月展」
10				10/1、2 「第 20 回土遊会陶芸展」 10/8 ～ 10/30 「イベント：古本まつり」	10/8 ～ 11/13 「石の里のアーティストたち Part15」at 石匠の里公園 「庵治石」をテーマに、地元の石彫作家達の自由で独創的な作品を展示
11	11/5~12/18 第 72 回企画展 「高松藩校講道館（仮）」	講演会や朗読会など、イベントも盛りだくさんです。ぜひお越しください。	11/22 ～ 12/25 香川県資料館協議会巡回展 「守る・攻める　城と館」	10/22 ～ 12/4 「日本刀展（仮）」 Japanese sword enthusiasts must-see!	10/8 ～ 11/13 「石彫作品展（仮）」at 企画展示室
12	高松市歴史資料館友の会 讃岐村塾では 5 月～ 3 月の毎月第 4 土曜日に講演会を開催しています。		染色や繊維として使われた植物を中心に紹介します。	12/10 ～ 1/15 「埋蔵文化財速報展（仮）」	11 /18 ～ 11/27 共催展「染色すなご染め展（仮）」 12 /2 ～ 12/11 12 /16 ～ 12/25 共催展「師走展」
2017 1		1 月下旬～ 「'17 コレクション展」	1/24 ～ 3/26 「万葉の花Ⅲ」 万葉集に詠まれている植物を紹介	1/22 ～ 2/15 「第 16 回篆刻展」	1/7 ～ 2/12 「さぬきアートプロジェクト（仮）」
2	2/4~3/20 収蔵品展 「未定（仮）」	3/6 ～ 「菊池寛アニバーサリー」		2/19 ～ 3/20 「第 16 回郷土の文化拓本展」	2/28 ～ 3/26 「収蔵品展（仮）」
3	Buddhist culture flourished and many temples were built in Takamatsu.				

玉藻公園・陳列館がリニューアルオープンしました。

玉藻公園の披雲閣の横に陳列館があることをご存知ですか？瀬戸内国際芸術祭の春会期開催に合わせ、展示内容を一新しました。高松城築城の紹介にはじまり、殿様たちのゆかりの資料・高松の伝統工芸品、高松城発掘成果報告など、見どころたくさん！ぜひ一度、陳列館にお立寄りください。

入場は無料（玉藻公園の入園料が必要）
開館時間などの詳細は玉藻公園ホームページでご確認下さい。
http://www.takamatsujyo.com/

編集：中條亜希子・広瀬杏子・長谷井めぐみ（歴史資料館）/久保清子(菊池寛記念館)/松原藍（石の民俗資料館）/仁木智恵（讃岐国分寺跡資料館）/
伏見由希（香南歴史民俗郷土館）　発行：高松市歴史資料館　2016.03